

■ スタイル傾向

テキスタイルからの発想ではなく、インテリア空間に取り扱いやすさと機能をどう付加していくかが、新しいスタイルやディテールを生む。壁、ウインドウを個性的でカスタマイズできるパーツや資材に注目。

ULF MORITZによる新しい価値を見出す壁材



小窓対応のウインドウトリートメント



見えそうで見えない空間の間仕切り



■ 概略

全体的にエレガントでラグジュアリー感があり、トラディショナルな手法を活かした比較的しっかりしたファブリックが増加。

様々なデザインテクニックと糸使いや加工テクニック、素材感が合わさって思いがけないテキスタイルの表情を見ることができる。

またテキスタイルのパターンを壁材に表現したり、テキスタイルに使われていなかったマテリアルが活用されたり、新しい実用価値を見出す過程でもある。

カラー

● アンバー & コッパー

- ・アース系、オーカル系、セビア系の微妙な色調
- ・古めかしい、さびた、くちた、黒づんだ、酸化した、色あせた銅、真鍮の色合い
- ・コッパーがアンバーと重なり合うように鈍い輝き

● パッションカラー

- ・ぶつかり合うようなコントラスト、大胆なカラーコンビネーション
- ・トロピカルなカラー、鮮やかな色合い
- ・高発色、饱和色

● エレガントな中間色

- ・グレッシュなミッドトーン
- ・ラグジュアリーな洗練されたグレートーン、ニュートラルカラー

● ミステリアスブルー

- ・深海、天空、地球のもつ自然界の無限のブルー
- ・アクア、セルリアン、コバルトブルー…幅広いブルー
- ・濃淡含めたブルーへブルーグリーンの色相

● 甘めピンク

- ・温かみのあるコーラルピンク
- ・ピンク系のファミリーカラーでフェミニンな印象に

クオリティー

● クラシックな織物の再現

- ・ゴブラン織り、高密度のジャガードに膨れや刺繡がプラス
- ・重厚さ、豪華さ、華麗さのある伝統手法の良さを再現
- ・モケットと、ベルベットの汎用性

● 刺繡、レースのテクニック

- ・ケミカル刺繡で繊細なテクニックのパターンを再現
- ・ウーブンに繊細な刺繡+オープンワーク
- ・赤、黒のカラー刺繡のケースメント
- ・テクニカルなテープ刺繡
- ・ヴィンテージ風な仕上がり

● 糸使い、凹凸の表面効果

- ・パターンに合わせた不均一な凹凸
- ・しわ加工、プリーツ加工のアットランダムで細かい凹
- ・意匠系と普通系の収縮で柔らかいふくらみのあるテクスチャー

● メタリックプラスの加工

- ・パターンやモチーフに合わせたメタリックな加工
- ・マットな光沢+しわ加工
- ・ルーズな箔プリント
- ・メタリックな表面に不均一なでこぼこしたエンボス加工やダメージ加工
- ・アルミ箔のような光沢

パターン

● クラシックなモチーフの再現

- ・パロック調、ゴシック調、ロココ調のパターン復活
- ・アールデコ、アラベスク、モザイク調の繰り返しパターンや複合のパターンコラージュ
- ・装飾的なレースパターンの活用

● モダンエスニック

- ・イカットの人気継続、合織素材や高発色のカラー、単色、カラーグラデーションのテクニックでモダンなイメージに
- ・絞り、刺繡のクラフトな手法をパターン化したり、サイズを変えてモダンに

● デジタルプリント技法の普及

- ・シンメトリーや繰り返しでありえないエキントリックなパターン表現
- ・重ねて、ずらして3D効果
- ・ほんやりとしたエッジやモチーフ、グランドの表現、全体をオングリーンに。
- ・モチーフのサイズを自由に変えてコラージュ

● 熱帯モチーフ、鳥、羽モチーフ

- ・熱帯風景、植物のフォトグラフィックな幻想的な表現
- ・エキゾチックなトロピカル柄
- ・鳥、羽のモチーフのバリエーション

スタイル

● ULF MORITZデザインの壁材

- ・抽象的なモチーフやオーナメントパターンのパーツで壁面デコ
- ・ライティングと壁材の合体

● 小窓対応のウインドウトリートメント

- ・上下開閉できる仕様
- ・変形窓枠にもカスタマイズフィット

● アートタッチの空間の間仕切り

- ・見えそうで見えない、閉塞感を解消
- ・転写したフォトフィルムのシートで様々なパターン、無数のカラーを表現
- ・編地のシースルー感を間仕切りとして活用
- ・パネル調の大胆な柄を粗と密な編地で表現